



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジー・ネットワークス
 コード番号 7474 URL <http://www.g-networks.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 阿久津 貴史
 (氏名) 小西 隆弘

TEL 0836-83-5511

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,618	△1.7	83	△24.7	87	△14.4	130	—
24年3月期第3四半期	5,713	0.8	110	△37.9	102	△47.7	1	△73.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	5.55	—
24年3月期第3四半期	0.06	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
25年3月期第3四半期	4,842	99.05	2,335	48.2	99.05			
24年3月期	4,652	93.49	2,204	47.4	93.49			

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,335百万円 24年3月期 2,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,259	9.8	137	22.9	127	24.9	37	—	1.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	23,584,000 株	24年3月期	23,584,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	4,726 株	24年3月期	4,574 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	23,579,361 株	24年3月期3Q	23,579,577 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を本日付けで受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に対する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、平成24年12月において新政権への期待の高まりが要因となり、悪化に歯止めが掛かった形となったものの、全体を通じては企業の生産や個人消費、復興需要などの内需の伸びも欠ける中、先行き不透明な状況で推移しました。外食業界においては引き続きお客様の節約志向が続いており、当業界を取り巻く経営環境は依然として厳しい環境となっております。

このような状況のもと、当社では主力事業である外食事業において「純粋な商品力の向上」をテーマとして、改善を実直に続けてまいりました。

結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高は5,618百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益は83百万円（前年同四半期比24.7%減）、経常利益は87百万円（前年同四半期比14.4%減）となり、平成24年12月度に固定資産売却益を計上した結果、四半期純利益は130百万円（前年同四半期は1百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの状況は次のとおりです。

①外食事業

外食事業につきましては、「純粋な商品力の向上」をテーマとしまして、メニューの抜本的な改善を行って参りました。業態別に見ても、主要業態である「おむらいす亭」が利益面においてはメニュー改善に伴う新ツール設置等において費用が嵩んだものの、収益源である売上において結果がでております。「カルビ大陸」「しゃぶしゃぶすき焼き清水」においても堅調に推移しており、「長崎ちゃんめん」においては、麺、スープの改善に加え、メニュー自体の改善とメニュー数の絞り込みも行ってきました。以上の結果、売上高は4,332百万円（前年同四半期比1.5%減）、セグメント利益（営業利益）は187百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

（おむらいす亭）

売上面においては秋より導入しております「ドリア」がお客様の支持を得ており、結果として、ディナー時における売上が拡大されております。利益面においては、効率化の推進と設備導入により、引き続き、利益を創出しやすい仕組みが実現しております。

（長崎ちゃんめん）

第2四半期より特化業態と位置づけ抜本的な商品改善に着手して参りました。ベースとなるスープを根本から見直すことにより顧客満足度の向上を実現できております。結果として、閑散期である10月11月においても売上、利益共に改善が為されております。

（その他業態）

「カルビ大陸」「しゃぶしゃぶ清水」を中心に全体的には堅調に推移致しました。引き続き不採算店舗の撤退を推し進め、抜本的な収益改善を図っております。

②教育事業

教育事業につきましては、英会話教室「NOVA」は引き続き堅調に売上高が推移し、販促の強化等により一時的に利益を圧迫いたしましたが入入ベースにおいては着実に伸びてきております。また、学習塾「I T T O個別指導学院」においてもNOVAと同様に販促を強化する事により利益を圧迫いたしましたが入入の源泉となる生徒数は純増しております。以上の結果、売上高583百万円（前年同四半期比7.6%増）となり、セグメント利益（営業利益）は30百万円（前年同四半期比43.2%減）となりました。

③食品加工事業

食品加工事業につきましては、事業収益の柱である12月度の「おせち」製造販売において、委託販売の販売個数減少の影響もあり、売上高は425百万円（前年同四半期比23.6%減）、セグメント利益（営業利益）は64百万円（前年同四半期比14.7%減）となりました。

④その他の事業

その他の事業につきましては、建築施工及び設備メンテナンスを行っております。事業として堅調に推移しており、売上高は277百万円（前年同四半期比27.4%増）、セグメント利益（営業利益）は23百万円（前年同四半期比67.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は4,842百万円となり、前事業年度末と比較し190百万円増加しております。負債総額は2,507百万円となり、前事業年度末と比較して59百万円増加しております。純資産は2,335百万円となり、前事業年度末と比較し130百万円増加しております。その結果、自己資本比率は48.2%となり、前事業年度末と比較し、0.8ポイント上昇しております。

変動の主なものは、資産では受取手形及び売掛金の増加216百万円、負債では買掛金の増加125百万円、純資産では四半期純利益130百万円の計上による利益剰余金の増加であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想に関しては、平成24年5月15日に開示いたしました「平成24年3月期決算短信(非連結)」からの変更は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は4,407千円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	245,387	274,132
受取手形及び売掛金	233,625	449,645
商品及び製品	22,123	34,107
仕掛品	7,851	3,313
原材料及び貯蔵品	69,595	91,842
その他	298,465	276,303
貸倒引当金	△11,697	△11,985
流動資産合計	865,351	1,117,360
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	946,545	950,065
土地	1,371,668	1,261,335
その他(純額)	179,132	199,480
有形固定資産合計	2,497,347	2,410,881
無形固定資産		
投資その他の資産	47,380	51,547
敷金及び保証金	887,916	857,373
その他	368,276	420,061
貸倒引当金	△13,981	△14,528
投資その他の資産合計	1,242,212	1,262,906
固定資産合計	3,786,939	3,725,335
資産合計	4,652,291	4,842,695
負債の部		
流動負債		
買掛金	287,984	413,517
短期借入金	210,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	334,424	289,660
未払法人税等	58,725	44,116
引当金	43,853	9,650
資産除去債務	5,292	15,659
その他	374,638	455,551
流動負債合計	1,314,917	1,528,154
固定負債		
長期借入金	919,792	765,635
資産除去債務	127,477	135,610
その他	85,614	77,861
固定負債合計	1,132,883	979,107
負債合計	2,447,800	2,507,261

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,715,000	1,715,000
資本剰余金	521,970	521,970
利益剰余金	△31,752	99,201
自己株式	△727	△738
株主資本合計	2,204,490	2,335,433
純資産合計	2,204,490	2,335,433
負債純資産合計	4,652,291	4,842,695

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	5,713,220	5,618,183
売上原価	2,277,116	2,251,733
売上総利益	3,436,103	3,366,450
販売費及び一般管理費	3,325,134	3,282,872
営業利益	110,969	83,578
営業外収益		
受取利息	2,603	2,432
受取配当金	259	259
不動産賃貸料	58,789	51,487
その他	29,217	36,209
営業外収益合計	90,869	90,389
営業外費用		
支払利息	20,668	20,029
不動産賃貸費用	64,335	56,265
その他	14,076	9,742
営業外費用合計	99,080	86,036
経常利益	102,758	87,930
特別利益		
固定資産売却益	123	85,110
会員権売却益	909	—
特別利益合計	1,033	85,110
特別損失		
固定資産売却損	0	56
固定資産除却損	12,391	14,396
店舗閉鎖損失	12,631	17,987
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	3,020
減損損失	40	23,610
特別損失合計	25,064	59,070
税引前四半期純利益	78,727	113,971
法人税、住民税及び事業税	35,555	40,546
法人税等調整額	41,642	△57,529
法人税等合計	77,198	△16,982
四半期純利益	1,528	130,954

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。